

これからの社会で求められる力

GPS-Academicでは、「批判的思考力」「協働的思考力」「創造的思考力」の3つの思考力を測定した。この3つの思考力は、今後皆さんが社会に出て問題解決を行っていくにあたって必要になる重要な力だ。まずはここで問題解決と3つの思考力の関係を確認しておこう。

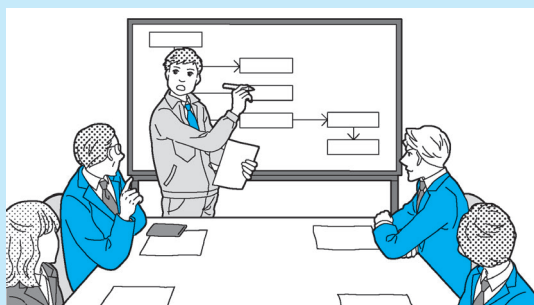
「問題解決」には3つの思考力が欠かせない

社会で求められる力の一つとして、「問題を解決する力」がある。ここでいう「問題」とは、社会や企業などで発生する解決すべき事柄のことをいう。例えば「地球温暖化をどう食い止めるか」という大きな規模のものから、「商品の売り上げをどう伸ばすか」という一企業の規模まで様々だ。また、下のビジネスの場面の例にもあるように、世の中の問題

の多くは、個人が単独で解決できるものは少なく、多くの人々の力を取りつけ、解決していく必要がある。様々な価値観を持つ人々とチームを組み、共通の目標や目的を掲げ、それを達成していく。今後社会に出ていくにあたって必要な問題解決の力を身につけるためには、こうした経験になるべく多く積んでおくべきである。

実際のビジネスの場面では

例えば家電メーカーの場合。商品の新規開発を担当することになり、実際に商品を開発し、お客様に届けることになったとしよう。「お客様の声を集める」「企画を立案する」「企画を実現するための機能を開発する」「工場で完成品を組み立てる」「宣伝する」「店頭で商品を届ける」などなど。数多くの業務について、社内の技術部門に開発依頼をしたり、販売部門と一緒に販売方法について考えたり、さらには社外の取引先に技術協力や販売協力を求めたりするなど、多くの人の協力を得て形にしていくことになる。チームとして動き、数多くの問題解決を行うことでよりよい商品の実現にこぎつける。こうした力が社会に出るにあたって求められている。



ただし、単に経験を積みばよいというものではない。今後の社会で必要となるのは、あらかじめ正解のある、コンピュータに代行されるような単純な問題解決ではない。答えが一つではない複雑で予測が難しい問題への対応が求められる。こうした問題を、周囲を巻き込みながら、着実に、高いレベルで解決していくために必要とされるのが下に示した3つの思考力だ。

この3つの思考力は学生生活や大学の授業をはじめとした様々な活動で鍛えることができる。ポイントは、どれだけこれらの思考力を意識し、「使う機会」を増やせるかだ。ディスカッションや発表を行う授業は、「使う機会」の代表例。積極的に履修したい。

チームで問題を解決する力のレベルを上げるために必要な3つの思考力

必要な情報を取り出し、いろいろな観点から考え、自分の考えを筋道を立てて説明するための思考力

批判的思考力

創造的思考力

情報をつないだり、別の場面に应用したりすることで、問題を見つけ新たな解決策を生み出す思考力

協働的思考力

他者との共通点・違いを理解し、合意を得たり、気づきを得たりして、人と一緒に物事を進めていくための思考力

問題解決のサイクルとそれに必要な3つの思考力

実際に日々の問題解決の場面で、どのようにこれらの思考力を意識し、使っていけばよいのだろうか。

問題解決を行う際には下の図のような問題解決のサイクル（①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現→⑤振り返り・考えの更新）を回していくことになる。なんとなく

このサイクルを回すのではなく、各段階において3つの思考力（「批判的思考力」「協働的思考力」「創造的思考力」）を十分に意識し働かせることで、よりレベルの高い問題解決を行うことができる。次ページ以降で、思考力が実際の問題解決の場面でのように関わるかを紹介しているので、ぜひ参考にしてほしい。

①課題の設定

現状と目標との差を知り、課題点をみいだす

批判的思考力●

解決すべき課題は何か、なぜその課題を設定したのかを論理的に説明する。

協働的思考力●

チームで話し合い、課題意識を深めたり、より価値の高い課題を見つけたりする。

創造的思考力●

経験を生かしたり、現状と目標の差を考えたりして、今までに扱われていない課題を発見する。

②情報の収集

課題を解決するための仮説を立て、必要な情報を選び、集める

批判的思考力●

仮説を絞り込み、集めた情報の確かさや重要度をチェックし、次に集めるべき情報を決める。

協働的思考力●

チームで様々な観点・方法を出し合い、幅広く情報を収集する。

創造的思考力●

得られた情報をもとに仮説を修正し、その検証に必要な情報を集める。

③整理・分析

集めた情報を整理し、多様な視点で分析する

批判的思考力●

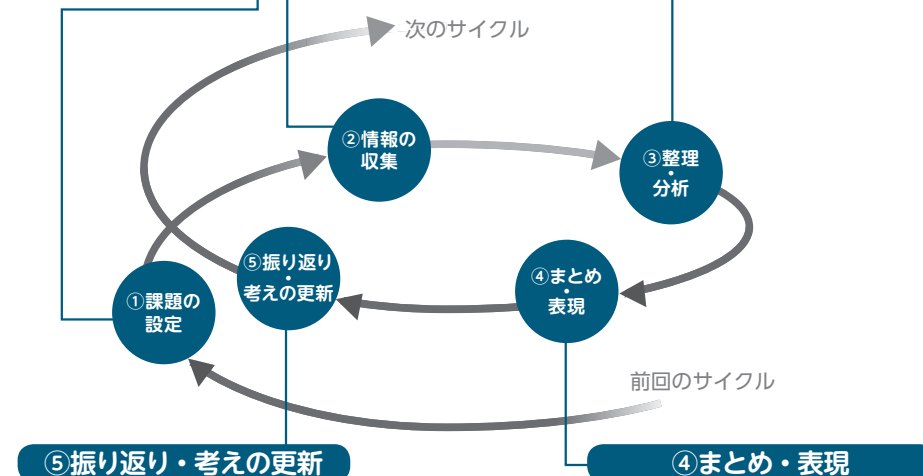
情報を分類したり、情報どうしを比べたり関連づけたりして、結論・主張を導く。

協働的思考力●

チームで議論を行い、メンバーの見方、考え方をすり合わせて、結論・主張を導く。

創造的思考力●

個人やチームの独創的な発想を生かし、結論・主張を導く。



⑤振り返り・考えの更新

できたこと、できなかったことを把握し、次の課題が何かを考える

批判的思考力●

ここまでのプロセスを見直し、改善点を検討して、次の課題を発見する。

協働的思考力●

ここまでの活動を振り返り、成果を認め合うとともに、改善点・次の課題を発見する。

創造的思考力●

これまでにわかったことをもとに自分の関心を見直し、新たな課題を発見する。

④まとめ・表現

結論・主張の伝え方を考え、他者に伝えたり、議論したりする

批判的思考力●

結論・主張のポイントを見極め、わかりやすく説明するための流れを作り、他の人に説明する。

協働的思考力●

メンバーのアイデアを生かした伝え方、役割分担を決め、聞き手の状況に合わせて表現する。

創造的思考力●

独創的な表し方（具体的な事例、図式やイラストなど）を用いて効果的に伝える。

思考力をみがくと 問題解決のレベルが上がる

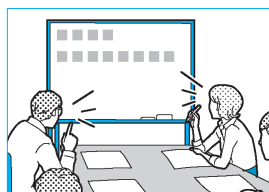
世の中の問題解決に力を発揮する「批判的思考力」「協働的思考力」「創造的思考力」の3つの思考力。前のページでは、問題解決のプロセスと各思考力の関係を図で示したが、思考力は大学での学びにも大いに関わってくる。今回は、大学で多くの人が経験する「レポートや発表」を例に見てみよう。

「成績を効果的に向上させる方法を考え、レポートにまとめ発表する」

「問題解決には思考力が必要」といっても、なかなかピンとこないかもしれない。チームで取り組む問題解決の場面で思考力をどう生かすべきか。このページでは、大学での活動のうち、チームで行う調査とそのレポート作成と発表を例にして、思考力の重要性を紹介する。「なんとなく」問題解決を行うとどうなるか、と比べながら確認しておこう。

課題の設定

企画の前提、調査の進め方を考える



調査を進めるにあたって、課題となっている背景や調査の進め方についてチームで協力しながら検討を進める。

思考力がうまく発揮されると…

- 批判的思考力** ●課題が何かをはっきりさせることができる
「成績が良いってなんの成績？」
「高校生？ 大学生？ 対象はどうする？」
- 協働的思考力** ●チームで課題を共有することができる
「課題をみんなで共有しよう」
「他の人の意見も取り入れよう」
- 創造的思考力** ●課題の解決策を考えることができる
「どのように調査をしようか」
「他の授業で使った“アンケート”って手もあるな…」

なんとなく進めると…

とりあえずネットだ。「成績 向上法」で検索して出てきた方法で確かめればいっか…

結局、調査を進める中で、目的や課題が曖昧のまま進み議論が収束しないことに…

情報の収集

調査のための情報を収集する



調査を進める際には、インターネットで調べるだけでなく、実地調査など様々な角度からできるかぎり多くの情報をもとに検討する。

思考力がうまく発揮されると…

- 批判的思考力** ●調査の仕方考えることができる
「調査のために何人くらい集めればよい？」
「ブログは加工されている情報だからそのもとになっている情報を集めよう」
- 協働的思考力** ●情報の収集について意見を出し合うことができる
「アンケートの質問は、だれが見ても理解できる内容になっているか？」
- 創造的思考力** ●情報を整理して別のアイデアを出すことができる
「アンケートだけでは本音を引き出せないから、定性調査としてインタビューもあわせて行おう」

なんとなく進めると…

それっぽいブログの記事があったからこれをそのまま使おう！

偏った情報を発信していたブログだけを情報源としたため、全く見当違いの結末に…

整理・分析

集めた情報を整理・分析する



収集したデータを正しく分析するために、ポイントを整理し結論をまとめていく作業を進める。

思考力がうまく発揮されると…

- 批判的思考力** ●データを正しく分析することができる
「成績と言っても、テストの順位だけでは正しく比べられないな…。他の観点からも分析しよう」
- 協働的思考力** ●チームで議論し、意見・考えをすり合わせることができる
「その判断は、因果関係が逆になっているのでは…？」
- 創造的思考力** ●情報を集め新たな気づきを得ることができる
「この件について論文があるな。執筆者の専門家に話を聞きに行こう！」

なんとなく進めると…

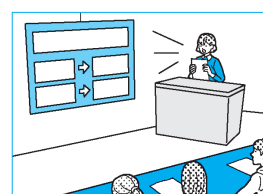
どの情報が正しいかわからない…



データの優先順位がつけられず途方に暮れることに…

まとめ・表現

結論をレポートにまとめる、発表する



発表するときの表現方法・わかりやすさについて考える。また、チームのメンバーの得意・不得意を考慮し、役割分担をする。

思考力がうまく発揮されると…

- 批判的思考力** ●わかりやすく論理立てて説明することができる
「このデータは量を比較しているから棒グラフで示す方がよいな」
「結論から報告した方が、全体の内容が伝わりやすいなあ」
- 協働的思考力** ●報告を受ける相手の立場に立って考えることができる
「1人で発表するより、パートごとに報告者を変えた方が飽きずに聞いてもらえそう」
- 創造的思考力** ●表現方法を工夫することができる
「インタビュー部分はリアリティを出すために動画を使う」

なんとなく進めると…

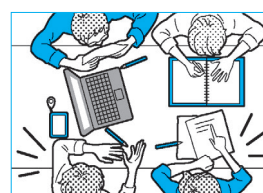
整理した情報は全て盛り込もう！



発表時間を大幅に超え、内容も結論がないものに…

振り返り・考えの更新

企画報告の流れを振り返り、検証する



どうすればもっとよい報告ができたのか、不足や不備はないか、次はどうすればよいかを考える。

思考力がうまく発揮されると…

- 批判的思考力** ●改善点と次の課題を検討することができる
「このサンプル数では結論を出すのに無理があった…。次回はより多くのサンプルを集めよう」
- 協働的思考力** ●チームで振り返ることができる
「企画の段階で役割を決めていればもう少し効率的に調査できたのでは？」
- 創造的思考力** ●他のアイデアを考えることができる
「今回は高校生で調査を進めたけれど、小学生や中学生を対象にするとまた結果が変わる可能性があるね」

なんとなく進めると…

とりあえず発表が終わったからよかった…。おつかれさま！



次も同じような結末をたどることに…

他にもこんなシーンで重要な問題解決プロセス

進路を決めるとき

進路を決めるときに本で読んだ情報、先輩の経験談、社会人の話を聞いてみるなど、複数の観点で検討してみよう。

就職活動のとき

就職活動で避けては通れないエントリーシート。相手に読みやすい構成、表現の仕方など思考力があれば、より向上する。

社会に出た後も

会社に入ってはじめて任された会議。会議のゴールの設定、参加者の発言を正しく理解する、議論をまとめるなど思考力が大きく関わってくる。

大学での学びに、思考力がどう関わっているのかが理解できたのではないだろうか。また、右で紹介しているように、進路決定、就職活動、社会に出てからの仕事の場面などの問題解決の際に、思考力は重要になってくる。ぜひ、次のページからの各思考力の解説を読み進め、思考力を大学の授業、課外活動、普段の生活で意識することから始めてみよう。

仕事をするうえで求められる力

仕事をするうえで求められる力とは

仕事をするうえで求められる力は、大きく分けて2種類あります。

1つは「どんな仕事でも求められる力」、もう1つは「それぞれの職業分野の内容に応じて求められる力」です。

●どんな仕事でも求められる力 (GPS-Academic の測定項目より)

	求められる力
批判的思考力	情報を抽出し吟味する／論理的に組み立てて表現する
協働的思考力	他者との共通点・違いを理解する／社会に参画し人と関わりあう
創造的思考力	情報を関連づける・類推する／問題をみだし解決策を生み出す
レジリエンス	感情の制御／立ち直りの早さ／状況に応じ冷静に対応する
リーダーシップ	自ら先頭に立って進める／未知の物に挑戦する／粘り強くやり抜く
コラボレーション	相手の立場に立とうとする／他者と関わろうとする積極性
自己管理	挑戦する／続ける／ストレスに対処する経験
対人関係	多様性を受容する／関係性を築く／議論する経験
計画・実行	課題を設定する／解決策を立案する／実行・検証する経験

●職業分野一覧とそれぞれの職業分野で求められる力

それぞれの力の例を以下の表にまとめています。興味のある仕事に必要な力を確認しましょう。

自分の強みと「求められる力」が合致する職業分野があれば、そこに適正があるかもしれません。

これをきっかけに、その職業分野について調べてみるのもよいでしょう。

	職業分野	職種例	内容	求められる力
作る仕事	企画・開発系	商品企画／市場調査／クリエイティブディレクター／イベントプランナー／デザイナーなど	企業内では企画、開発、研究所などの部門に勤務します。企画や市場調査などに関わる専門企業や、企画にともなうクリエイティブな現場で働く人たちもいます。	●情報の収集・整理・分析能力 ●互いの理解を深めつつ共同作業をする姿勢 ●時代の一步先の空気を読み取る力、好奇心
	技術・生産系	研究者・技術者（理工学系、工学系、農学系）／建築技術者／生産・品質管理／半導体設計など	メーカーなどの企業で、製造、生産管理などの部門に勤務します。技能に関わる専門職として、広く社会で働く人たちもいます。	●製品の開発や実用化のための専門知識 ●正確で効率的な処理能力 ●量産化やコストダウンを視野に入れた応用力
売る仕事	営業・販売系	営業／販売／サービス／セールスエンジニア／キャビンアテンダント／スポーツインストラクター など	企業内では営業、販売、仕入れ、交渉、サービスなどの部門に勤務します。各種サービスの現場では、専門職として働く人たちもいます。	●相手との信頼関係を築くコミュニケーション能力 ●相手にとって最適な解決策やプランを打ち出す提案力 ●相手を説得できる商品などの専門知識
	広報・宣伝系	広報／宣伝／アナウンサー／記者（放送・新聞）／編集者／通訳・翻訳／コピーライター など	企業内では宣伝・広報などの部署に勤務します。メディアに関わる専門の企業で、広く社会とのコミュニケーションに携わる人たちもいます。	●メッセージを伝えるためのコミュニケーション力、国語力 ●商品・サービスや自社のイメージアップのための企画力 ●企業のアカウンタビリティ（説明責任）を果たせる情報発信力
管理する仕事	運営・調整系	経理／財務／総務・人事／秘書／学校職員／公務員／税理士／公認会計士 など	企業内では総務、人事、財務などの部門に勤務します。企業内だけでなく公務員や専門職として社会・組織の運営・維持に関わる仕事に携わる人たちもいます。	●トラブルを予防・解決する能力 ●社員の働きやすさを追求するホスピタリティ ●会社の業績を把握し、状況に応じたアドバイスをする力
	システム系	プログラマー／システムエンジニア／WEBデザイナー／ゲームクリエイター など	企業内では物流、情報、システム部門に勤務します。情報、システム、ITやゲームなどに関わる専門企業で働く人たちもいます。	●システムに関する専門スキル ●業務を無駄なく正確にこなす能力 ●物事を、筋道を立てて論理的に考えていく力
その他	教育系	保育士／教諭／大学教員／各種講師／学芸員／司書／企業内の人事教育部門 など	学校教育や教育産業、企業内の人事教育部門に勤務します。カウンセリングなど、福祉系との連携をとりながら働く人たちもいます。	●生徒（児童・学生）との信頼関係を築くコミュニケーション能力 ●相手の様子を見ながら適切な説明をする指導力 ●指導内容に関する専門知識
	社会福祉系	公務員／警察官／消防官／カウンセラー／介護福祉士／医師／看護師／薬剤師／弁護士／司法書士 など	医療、福祉、保健の仕事に従事する人たちだけでなく、広く社会貢献のために公務員として働く人たちもいます。	●相手の立場に立って物事を考えられる洞察力 ●問題を客観的に把握し、解決に向けて動ける行動力 ●規律正しく、正確に業務を遂行できる力
	国際系	国際公務員／日本語教師／通訳・翻訳／海外ツアーコンダクター／NGOスタッフ など	海外旅行や語学教育に関わる仕事に従事する人たちだけでなく、国際機関や企業内の海外部門、現地で国際的に働く人たちもいます。	●異なる文化、価値観などを受け入れる柔軟性 ●自身の意見を明確かつ積極的に伝える力 ●コミュニケーションをスムーズに進められる言語能力
	起業系	起業家／経営者	起業とは新しい事業を起こすことであり、起業家として自ら会社を設立する場合が多いですが、企業内において新規事業を立ち上げる人たちもいます。	●ビジョンを明確にし、それに向けた戦略を立て、実行する力 ●ビジネスにおけるひと通りの知識（マーケティング、会計等） ●顧客や取引先を自ら開拓していく積極性